



# 週)報

2013~2014年度)) ) R I会長)ロン)D・バートン)  
『ロータリーを实践して)みんなに豊かな人生を』  
))))))))))第 2570 地区ガバナー)中)井)眞)一)郎)

国際ロータリー  
第 2570 地区

## 狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14)TEL)04-2954-2511  
〔事務所〕〒350-1305)狭山市入間川 1 -24-48)TEL)04-2952-2277)FAX)04-2952-2366  
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp  
会長)栗原憲司) 会長エレクト)稲見)淳))副会長)高田虎光) 幹事)宮野ふさ子

〔第 3 グループ内の例会日〕 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)  
所沢(火)、新所沢(月)、所沢西(水)、所沢東(木)、所沢中央(月)

### 第 993 回(5 月日 20)例会の記録

点 鐘 栗原憲司会長  
合 唱 我らの生業  
第 2 副 S A A 小幡君、奥富君  
卓話講師 2009~2010 年度  
パストガバナー加藤玄静様  
(本庄 RC)  
ビジター NPO 法人  
さやま環境市民ネットワーク  
理事 吉岡勇三様

『隠岐・海士町は第 15 回「隠岐後鳥羽院俳句大賞」表彰式に併せ、隠岐 4 島をゆっくり巡る 3 泊 4 日の特別ツアーを企画しました。後鳥羽上皇、後醍醐天皇ゆかりの地の他、世界隠岐ジオパークに認定された大自然あふれる島々を時間をかけて吟行します。ツアー内では合同句会も行います。』との案内でした。またここに「隠岐やいまこの芽をかこむ怒涛かな」という加藤楸邨の俳句が載っておりまして、加藤楸邨は皆さんご存知の通り、埼玉県春日部で教員をされており、埼玉県には加藤楸邨ゆかりのお弟子さん達が沢山おられます。そして観光ツアーの案内もされておりますが、海士町の隠岐神社、夜の隠岐神社まいり、隠岐の島町・牛突き、西ノ島町・国賀海岸、隠岐の島町・水若酢神社、都万目の民家、知夫村・赤壁、隠岐の島町・壇鏡の滝と名所が書かれておりました。一度は行ってみたいと思っておりますが、遠く、また今回はモンゴルに行く時期と重なってしまっておりますので、次回行ってみようと思っております。

#### 出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
35 名	27 名	75.00%	90.63%

### 会長の時間

栗原(憲)会長

先日行われました、地区研修・協議会にクラブ研修リーダーということで参加してまいりました。会長として一年間経験した知識や情報などを、クラブ運営のために活用していきたいと思っております。会員増強や退会防止に力を入れ、活発なクラブ運営に尽力していきたいと思っております。



私事ですが、現在狭山茶製造で夜なべをしております。小さい工場なので、妻と二人で、昼間はお茶を狩り、夕方に機械の整備をし、それから機械を回して、だいたい朝の 3~4 時頃までお茶を作っております。しかしそれもあと 2~3 日で終わるところまで来ました。

昨年 5/3 に狭山市で行われた埼玉県の俳句協会の大会で、実行委員長を務めさせていただきました。その時に隠岐の島の俳句大会「隠岐後鳥羽院俳句大賞」のパンフレットを配って欲しいとの依頼を受け、参加者に配布を致しました。私もその時に応募をしたのですが、その結果が何日か前に届きまして、入選を致しました。表彰式の案内が届きましたので、少し紹介させていただきます。

後鳥羽院上皇は和歌で有名な方で、隠岐の島に流されたことで、隠岐が有名になりました。また観光案内には、海士町情話を兵庫県の俳人が書いており、俳句で感想を書こうということだと思っておりますが、今年の新しい大会の案内も届きました。佳作となりました私の作品をご紹介します。

#### 「茶の花に山の夕日の重さかな」

そして娘も新人奨励表彰を頂きました。また埼玉県の茶業協会から「味の狭山茶」というパンフレットが会員に配られました。それには「深い色香と味の良さ 狭山茶」と書かれており、お茶の歴史から作り方まですべて載っております。



## 幹事報告

宮野幹事

1. パブリックコメント最終報告及び地区研修・協議会費用についてのコメントについて
2. 次年度役員・理事のお知らせ  
所沢RC、新所沢RC、所沢中央RC  
入間RC、入間南RC
3. 受贈会報  
入間RC、入間南RC、狭山RC

青少年交換学生(ジョナサン・ポープ君)受け入れ説明・打ち合わせ会に出席しての、ご報告がありました。同時に会員へホームステイ先(受け入れ1~2週間)をお願いしました。

## 委員会報告

R情報・雑誌) ) ) ) ) ) ) ) ) ) 片山委員長)

横書の表紙は「新緑の中を泳ぐ」という愛媛県のこいのぼりの写真です。そして縦書きの表紙は、長野県の「おぼる月夜」です。詳しいことは縦書32頁を読んで頂ければわかると思います。

### 【横書】

3頁には「ポリオ撲滅 そのゴールのために」というRI会長のメッセージが載っております。私は最近、ポリオがまた少し増えてきたのではないかという新聞記事を見ましたが、これによるとそうでもないようなことが書かれております。右側上から6行目には、

#### 皆さんの支援を2倍にする

私は、皆さんに「End Polio Now: 歴史に1ページを刻もう」キャンペーンが順調に進んでいることを報告できることをうれしく思います。ロータリーとビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団が新たな合意文書を交わし、それに基づき1月に7,000万ドルを受け取りました。さらに4年間(2018年6月末まで)この合意は継続し、その間ゲイツ財団は、年間3,500万ドルを上限として、ロータリーがポリオ撲滅に寄付した額の2倍の額をマッチングすることになっています。

と書かれております。

6頁にはいつも話しておりますが、「ロータリーとは」「ロータリーの目的」「四つのテスト」が載っております。毎回同じことが載っておりますので、是非良く考えながら読んで頂きたいと思っております。

8頁下の部分に、「ごみゼロで事故ゼロ!」という蓮田RCの記事が載っております。ご一読願います。

16頁には「イギリスから震災孤児を見守る」ということで、田中ソロウェイ明美さんというイギリス在住の方が、震災孤児を支援するためにロン

ドンで色々な活動をしていることが書かれておりますので、良く目を通して頂きたいと思っております。

36頁には「会員増強の懸命な取り組み」ということが大きな字で書かれております。過去10年間、ロータリーの会員数は約120万人の横ばい状態。これは、この10年に入会したのと同じ数だけ退会していることを意味しているということです。こちら皆さん良く読んでください。

37頁~、ロン・パートンRI会長は一度ロータリーを辞め、再度入会されているようですが、38頁の上から2つ目「クラブを退会したのですか?」その下の「ロータリーに関する興味を人々が失ってしまう要因は、何だと思えますか?」等、RI会長が色々な質問に回答していることが全て書かれておりますので、目を通して下さい。

42頁「行動しよう」ということで、クラブがなぜ縮小するのかわからない?以下の質問について考えてみましょうということ、質問が5項目書かれております。この5項目について意見がありましたら、皆さん考え、メモ書きで結構ですので、私の方に来月のロータリーの友の時間までに提出して頂ければ有り難いと思っております。

### 【縦書】

13頁、「友愛の広場」の一番下、『魅力あるロータリーに』に「昨今の国際ロータリーは慈善事業の基金を多く集めたいのか、ロータリーの基本を外れた会員増強に力を入れているように感じます。そのためロータリーの魅力が失われて、入会者が減少し、退会者が増えているものと考えます。」と書かれております。良いことが書かれておりますので、読んで頂きたいと思っております。

14頁、一番下には『心臓病 第二の心臓を生かす!』とあります。これは以前、大生病院の院長が卓話の中で、心臓についてお話して下さいましたが、第二の心臓とは足のことを言っております。人間は立って歩きますが、動物は四足で歩いているため、心臓にあまり負担がかからないそうです。こちら良く読んでみて下さい。



## 「外来卓話」・・・・・・・・

『ロータリー雑感・・・今後は?』

2009～2010年度

パストガバナー加藤玄静様

(本庄 RC)



私が正式にクラブに伺ったのは、小幡さんが会長の時の、私のガバナー公式訪問以来だと思っております。今日は地区でいつもご一緒しております田中八束さんよりお話を頂きました。予定を確認致しましたところ空白でしたが、実は今日は妻の古希の誕生日で、東京の子供と孫の所に行くために予定を入れていなかったことをすっかり忘れておりました。しかし家庭では立場の悪い夫、父親でございますので、ロータリーに来てしまいました。

私がガバナーの時に、やはり公式訪問が先に決まりますので、鶴ヶ島ロータリーの公式訪問の日が、後から決まった3番目の娘の結婚祝いの日となりました。しかし後から決まったので、娘にダメだと言い、家の中で騒動を起こしました。結果的に私は鶴ヶ島の公式訪問に行きまして、途中で電話をしたのですが、「ロータリーが大事なだから結構です」と携帯電話を切られてしまい、本当に私は、明るい社会を作ろうなどと言って、暗い家庭を作っているなど、非常に反省をしております。しかし家族の事は後でどうにか話し合いをすることができますので、やはり先に約束した方が大切なので、私はそうした意味で今日も喜んで伺いました。

今「ロータリーの友」の発表で、色々と細かく報告して頂きました。私は「ロータリーの友」の顧問を1年しておりますが、半年前から色々と企画を立て取材をし、文章を作ったものが、各クラブに行ったときには積まれていることが多い中で、こうしてクラブの中で時間を取って紹介して頂くということは、作る側としては非常に嬉しく思い、このことは各クラブにもお話していきたいと思っております。「ロータリーの友」は本当にロータリー情報が、国際的な物から国内、それから皆様方の趣味特技のことまで、事細かく載っておりますので、非常にためになると私は思います。特に会長さんをされる方は、当然これを毎月見て頂くと、会長の時間の話が豊富になります。

私は、会長の時間の10分間は非常に大切だといつも言っております。この会長の時間10分間が例会50回で積み重なりますと年間500分、面白くて為になり、ロータリー情報があるとすれば、次も会長の時間を楽しみに例会に来ると、私は思っております。しかし会長さんによっては自分の趣味の話で終わってしまったり、或いは昨日の相撲の話で終わってしまったりということもあるようなので、やはり自分の経験話をし、それがロータリー情報に繋がるという形でして頂きたいと思っております。

卓話に行くたびに、会長エレクトの方には1冊のコピーを持ってきております。目標として、「ロータリーの原点は例会である。例会の始めは会長の時間から、そして皆様方クラブ会員は手続き要覧を厳守する」という形で、一年間の私の会長の時間をまとめれば良かったのですが、私がそのようなことを記事にしておかなかったために私にはできませんでした。私の後輩で、今年群馬でガバナーをしております本田さんは、非常にマメな方で、1回目の会長の時間から最終の会長の卓話まで、自分で50回の卓話を全て記事にとってありました。このように会長とは、会長の時間に全霊をかけて頂きたいと思っております。

また、私が2013年に行き、皆様方に読んで頂いた規定審議会について、今年は勉強会をして頂けたでしょうか?2013年で国際ロータリーと各地区、各クラブはどのように変わったかということですが、事業計画や理事会運営をすべき200の議題の中で、通ったもの、通らなかったものが全て書かれております。これをいつもエレクトにプレゼントしておりますので、お渡ししたいと思います。

国際ロータリーという大きな組織がありますが、その会員はこの狭山中央ロータリークラブや本庄ロータリークラブ等、このクラブが会員となるわけです。この国際ロータリーの一番の基礎となる狭山中央ロータリークラブの例会が、面白くて為にならなかつたら、恐らく欠席をしてしまうのではないかと思います。どちらかに優先順位を掛けた時に、ロータリーに行こうという優先順位が何番目になるのかということによって、例会の出席率が変わってくると思っております。私はそのために、例会は面白くて為にならなければいけないのではないかと思います。

先ほど下で先輩のロータリアンの方とお会いしましたが、少なくとも我々が入った頃には、ロータリーにステータスがありました。ロータリーに入っている方は、仕事も、人望的にも立派だ、私もロータリークラブに入りたいと思う方が、私はいたと思います。我々も青年会議所の時に、40歳で卒業となりますが、同じ町の中の同じ例会所でロータリーの方が例会をやっておりますと、やはり立派だと、いずれ私たちもロータリーに入りたければ入れるのだろうかといったように、

ロータリーを評価しておりました。

私が45歳位の時に、家の総代が会長になるということで、入会の誘いを頂きました。私はクラブのことは良く知りませんでしたので、入会申込書を書き、総代に渡しましたが、悪いけれども入会できないと言われました。入れというから入会申込書を書いたのに、何故なのか聞きましたところ、実はロータリーにはルールがあり、1業種1名だということで、今いる真言宗の住職が辞める等しない限り、次の寺院の方は入れないということでした。もしロータリーに入りたいたすれば、本庄ロータリークラブ以外に市内にクラブを作り、そこであれば入れるということでした。そこで色々な業界で本庄ロータリークラブに入っていない方を集め、児玉ロータリークラブを作り、さらに上里ロータリークラブ、本庄南ロータリークラブとクラブ拡大をしていき、ロータリーの会員を増やしました。しかし今は1業種5名までOKです。そのため自分の同業者が少なくとも5人迄は入れ、或いは51人以上のクラブは1割まで入れるようになりました。自分の同業者が増えるということは、例えばここで私が卓話をするときには、どうしても同業者の顔色を見ながら話すようになってしまい、自分の本当の気持ちで卓話ができなくなってしまいます。私はロータリーのステータスが落ちたことは、この1業種1名から1業種5名にまでなったこともあるのではないかと思います。

先ほど出席報告の際、メイクアップで、修正で90%との報告がありましたが、皆さんメイクアップはどの程度しているのでしょうか？私が入った時には、先輩から、折角ロータリーに入ったのだから4連続で休むなと言われました。そう言われましても、7月8月のお盆の時期には例会には出ていられません。しかしそれはお寺の言い分であって、他の業種でもそのような言い分はあります。4連続休んで、5回目に来た時に自分の席がなくても文句は言えない、あなたは理事会によって除名されるのだと言われました。ロータリーとはそんなに厳しいのかと調べましたところ、その通りでした。なぜかと言いますと、ロータリーの基本は例会ですので、例会に来ない方はロータリーの会員としての資格がない、自分が放棄したのだということで、メイクアップが非常にうるさかったのを覚えております。

先輩に連れられ他のクラブに行き、本庄は私の入会当時108人おりましたので、そのように大きな例会をしているクラブや、隣の17~18人で例会をしている子クラブ等、色々なクラブの例会を見ていきますと、自分のクラブの良さや悪さがわかってきます。やはりメイクアップとは非常に大切なのではないかと私は思います。最近ではそうした厳しさが無くなってきたことが行けないのではないかと思います。

先ほど、国際ロータリーが会員集めなのではないかというお話をしておりましたが、今国際ロー

タリーとは本当にそうなのです。ロータリーの公共イメージをあげ会員を増やさないということで、会員を増やすことは良いことだと思います。しかしその裏付けは何かといいますと、会員を増やし、人頭分担金でロータリー財団が運営できるようにしましょう、そして国際ロータリーはポリオを全滅させれば、それで第一の目的は達成できるのだということが中枢にあるのです。私が何年か国際ロータリーの役員として出て行きわかったことは、やはりアメリカ流のロータリーと日本流の職業奉仕と地域社会を大切にすロータリーの違いがあります。何とかならいかと思ひ、そして田中さんが日本から3人目のRI会長となりましたが、しかしやはり1代位で改革することは非常に難しいと思います。先ほどもありましたが、この10年間で122万人が入会し、結果的に122万人が辞めているということは、大変なことです。122万人が入っているのに、これが10年間で辞めていくのです。そこにやはり、一つのロータリーのルールを新しく入った方に教えない、我々先輩側の責任なのではないかと思ひます。

このクラブでも、例えば田中さんが新会員として入会されますと、当然推薦会員がいます。そして推薦会員の他にこの1年間、田中さんを指導する、指導顧問を付けなければいけないという決まりがあります。田中さんが例会に出てきたときには、推薦会員と指導顧問が両脇につき、そしてその時に新しい会員に、例えば「パストガバナー」という新しい名前が出ていたら、パストガバナーの説明をし、また次の時には例えば「卓話」とはなんなのか等、こうしたことを教える、またわからなかったならば新会員の方は自分の推薦人や指導顧問に質問をします。こうしたことを情報委員会やその他で教えないことによって、結果1年はすぐに経ってしまい、それが2年、3年と経つうちに、だんだんとロータリーの情報というものが聞いていてもわからず、面白くも可笑しくも、為にもならないということで辞めていくということになります。

実際我々の本庄も、昨年50周年を行いました、40周年の時の名簿の顔ぶれと50周年の顔ぶれを比べますと、49人辞めています。10年間で49人です。しかし会員の数が維持されているということは、それだけ会員が入っているということです。ではどういった方を入れたいかといいますと、一番大切なことは、誰の推薦者によって入会したかということをおもひ出してもらいたいということです。その推薦者がどういった形で、自分を誘ってくれたのか、その時にロータリーというものは、どのような組織でどのようなことをしているのかと、国際ロータリーや地区やクラブの話をしてきて推薦してくれた方と、とにかくロータリーに入っていれば面白くて為になる、ゴルフや旅行が出来るし、仕事が増える等、どちらかといえば甘い言葉で誘った場合と、ロータリーの本質で誘っ

た場合、結果どちらの方が辞めるかと言いますと、やはり甘い話で入った方が辞めていきます。やはりそうした方は、入った途端に、高い入会金と高い会費を払って、また運悪く1週目がロータリー財団の寄付の話であったり、翌月米山の寄付の話であったりすると、ロータリーに入ったらお金の話ばかりだと、このように受け止める方もいらっしゃると思います。しかし財団の役目や米山の役目を先に知っているとなれば、自分が寄付したものが役に立つのだと考えられると思います。私はロータリーの新会員の方が早くロータリアンになるように、ロータリーの研修を積むことが大切だと思います。

私は仏教ですので儒教の事はあまりみないのですが、今日は妻が古希の誕生日を迎えたので、論語の七十には何が書かれているのかと見てみましたら、「七十にして心の欲する所に従って矩を踰えず。」と書かれておりました。70歳になって、人生観は色々あるけれども、自分の考え通り動いても間違いがないという意味です。私もその年になりましたが、まだまだ間違いだらけです。妻とよく、「孔子様は良いことを言ったね。70歳になれば自分の思った通りに行動をとっても間違いはないのだ。しかし俺の行動は毎日間違っているね。」「だってあの人は聖人だから。」「聖人だって歳は70歳、同じじゃないか。」という話を致しますが、私は如何に僧侶としてもまだまだ修行が足りなかったのか、ロータリアンとしてまだまだ研修が足りなかったと、そのように自分を問いただせば良い訳ですが、やはり私たちも色々なクラブに行き、地区で研修の話をしますと、もう研修はいい、ロータリーはもっと面白くて楽しめばいいのだという声を聞きます。確かにその通りではありませんが、面白くて楽しむために、ルールというものを蔑ろにしては、私は面白くないと思います。

私はゴルフに関しましては、100を切れば嬉しいのですが、その100を切れば嬉しい私が、もし皆さんと一緒にゴルフをした時に、バンカーに入ったり、木の後ろに行ってしまったボールを、ルールがわからず、打ちやすい所に移してから打ったら、皆さん何と言うのでしょうか？ゴルフとはボールを触っては駄目なのだとルールを教えてくださいと思います。ではロータリーではどうでしょうか？例会を休むことはどうなのでしょう？ゴルフの話は事細かく言ってくれますが、ロータリーの一番大切な規則である、例会を4連続で休んではいけないということには適用しないのでしょうか？こうしたルールがあるからこそ、ロータリーも面白いのだと私は思っております。

今大変なことが起こっておりますが、ロータリーはステータスがなくなってきただけでなく、本当に今ここに居る方たちが入ってきた頃のロータリーとどんどん変わってきているということです。勿論良い方に変わることは良いのですが、どうも私が考えてもおかしいのではないかとこの

とがあります。例えば今週1回当たり前に狭山中央ロータリーは例会を開いておりますが、国際ロータリーで毎回でてくることは、例会は隔週で良いではないかということです。このようなものがどんどん提案されており、それはまだ否決されておりますが、代わってインターネットクラブができております。忙しいのだからインターネットを開いて、3時間そのクラブの会長が話しているうちの30分間、クリックしていれば出席になるといった、インターネットクラブがOKとなっております。2010年までは一つの地区に二つしか認めないといっていたものが、2013年の規定審議会では、各地区に数に関係なく作ってよいということになりました。日本では京都にできましたが、京都の場合にはまだ日本流の考え方があり、年2回だけは会おうということになっております。しかし海外のインターネットクラブとは会わずに、パソコンだけという、面白くて為になる例会を開かないe-クラブというものがこれからは出来てきます。その反面厳しくなったものもあります。毎年皆さんに国際ロータリーにクラブのメンバーを登録すると、人頭分担金がかかるわけですが、それをごまかすために、実際には34名いるのだけれど25位の登録としますと、人頭分担金が浮きます。しかし誰の名前が消されたのかわからないのです。今度はこれを辞めさせるために、クラブ幹事は7月の第一例会で、国際ロータリーが出した名簿を会員に配らなければならないのです。

ある2つの大きな国が、人頭分担金を少なく払うということがありました。そのため今回、クラブ報告の規定を改正し、証明された報告は会員に配布するというので、幹事さんは第一例会で国際ロータリーに登録したこのクラブの名簿を閲覧させなければなりません。そして、クラブの幹事さんを2013年の規定審議会より、理事会のメンバーとすることになりました。そして先ほど出席免除の方がおりましたが、今までは自分の年齢が65歳になり、ロータリーに20年以上いる、すなわち85歳という規定があって、これに適用されると、理事会に提出し、出席免除となるわけですが、今回この65歳という年齢制限が廃止されました。なぜかと言いますとこんなに長く会員としていらっしゃるのには日本くらいなのです。外国は30代、40代で会員に入りますから、20年ロータリーにいても65歳にならないければ免除規定にならないのかという提案が外国からありまして、2013年度の規定審議会から年齢制限がなくなりました。

またもう一つ大きく変わったことは、このクラブには割と女性がいらっしゃる、私のクラブにも7名おりますが、フランスの代議員が提案したことで、今までロータリアンは、夫がロータリーに入っているために、子育てのために、私が社会貢献をする機会がなかったが、これからは夫にも子供にも手がかけられないので、主婦として入会をして良いかということでした。これはOKとなりま

した。主婦でいてロータリアン、そうしますと、恐らく職業分類はどうするのだ、今職業分類を大切に日本はしているのではないかと、そこに主婦という分類があるのかということになると思います。主婦という分類はありませんが、主婦は正会員として入ることができます。2010年の時には職業を持っていない初期高齢者、中期高齢者が社会奉仕をしたいという気持ちさえあればロータリーに入れるということになりました。これも職業分類はありませんが、ロータリアンになることができます。

何故かといいますと、国際ロータリーはあらゆる手段を使って会員を増やしたいのです。会員を増やし、それだけの会費を集めて、人頭分担金を頂き、ロータリー財団を維持していきたいのです。それは国際ロータリーが作った唯一の団体がロータリー財団だからです。これを維持することが、国際ロータリーの役目ではないかと、代々のRI会長は思っております。私は少し、日本のロータリーの形とは違うのではないかと思います。この辺を如何に、この地域社会で生きていくクラブがどのようにしていくかということが、狭山中央ロータリークラブが例会を中心としてロータリールールをつかみながら、この地域社会に貢献していくかということを考えて頂くことが、一番ではないかと私は思っております。

あとは私がお配りした資料を見て頂ければ、今日の意図することが分かるかと思えます。とにかく、会長の時間を有意義に使って頂き、ロータリーの基本は例会ですので、この例会を面白楽しく維持して頂きたいと思っております。



- 栗原(憲)君 2570 地区パストガバナー加藤玄静様、ようこそお出で下さいました。卓話よろしくお願い致します。
- 宮野君 加藤パストガバナー様、本日はようこそお出で頂きました。卓話楽しみにしておりました。
- 中谷君 本庄RC、パストガバナー加藤玄静様、本日はお出で頂きありがとうございます。卓話よろしく申し上げます。
- 小幡君 加藤玄静様、本日はようこそ当クラブへお出で頂きありがとうございます。地区ガバナー様の時期、大変ありがたい人生の教訓で、勉強になりました。
- 高田君 加藤様、本日はありがとうございます。卓話よろしくお願い致します。
- 田中君 加藤パストガバナー、卓話よろしく申し上げます。
- 吉松君 5/27 卓話をお願いしました、吉岡様、来週は私は欠席ですが、本日はようこそお出で頂きありがとうございます。
- 夫人誕生祝 奥富君

)  
)  
)

次の例会

第2副SAA 佐々木君 佐藤君

6月3日(火) 12:30~13:30

外来卓話 三井記念美術館 教育普及員 亀井 愛様

『三井記念美術館と日本橋』